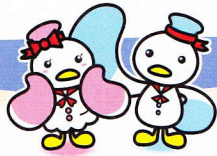


伝言板

No.18(H24.12)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

第9回「みなと座談会（室蘭）」の開催…………… 1	みなとパネル展の開催 …………… 7
平成24年度 助成制度の実施概要について …… 5	みなとサポート事業 …………… 8
北海道開発局防災エキスパート	第2回 Sea 級グルメ全国大会 in ONAHAMA …12
（港湾・空港・漁港）平成24年度研修会の開催… 6	北海道みなとオアシスについて ……………14

第9回「みなと座談会（室蘭）」の開催

NPO法人みなとの文化振興機構が実施する「みなと座談会」は、みなとまちおこし活動の状況などについて、全道各地で活躍されている方々と北海道みなとまちづくり女性ネットワーク会員の協力の下に、平成16年より毎年開催してきました。

「みなと座談会」開催地の選定は、第1回函館市から第5回の広尾町まで「ザ・シンポジウムみなと」（主催：実行委員会）の開催地又はシンポジウムの対象となる港の所在地で同時期に実施され、第6回以降は開催地の重複を避け、「みなと座談会」の目的である「みなとを核としたまちづくり」の輪を全道に広げるべく未開催地の留萌市、苫小牧市、函館市と実施してきた経緯があります。

今年の「ザ・シンポジウムみなと」は11月21日、室蘭市での開催が決まりました。室蘭市では、平成18年にみなと座談会を開催しておりますが、前回の開催から6年を経過していることから、今年は室蘭市での開催としました。

開催年別の開催場所と議題（テーマ）及び北海道みなとまちづくり女性ネットワーク会員の参加者数は、下記のとおりです。

開催年月日・開催場所	議題（テーマ）	女性ネット参加者数	備考
平成16年11月5日 函館市 棒二森屋7F	みなとまちの魅力の再発見と新たな創造	5名	第1回
平成17年7月16日 釧路市 全日空ホテル	みなとまち釧路の食文化と観光振興	7名 オブザーバー3名	第2回
平成18年10月27日 室蘭市 フェリーターミナル会議室	文化とまちづくりにかかわる室蘭港	6名 オブザーバー4名	第3回
平成19年11月26日 稚内市 ポートサービスセンター	地域活動について	7名 オブザーバー10名	第4回
平成20年11月17日 広尾町十勝港管理事務所	北海道みなとまちの活性化と課題	10名 オブザーバー5名	第5回
平成21年11月18日 留萌市 海のふるさと館	女性の視点によるみなとまちづくり	8名 オブザーバー10名	第6回
平成22年10月26日 苫小牧市西港フェリーターミナル	みなとまちづくりに関わる地域活動の現状と課題	9名 オブザーバー18名	第7回
平成23年10月25日 函館市水産物地方卸売市場	女性の視点によるみなとまちづくり ——食育を通じた人づくり地域づくり—— ・特別講演 古屋北大特任准教授 食育を通じた人づくり地域づくり ——みなとまちづくり女性ネットワーク函館での活動を振り返って——	9名 オブザーバー20名	第8回

1 座談会の開催日時等

開催日時 平成 24 年 11 月 20 日(火) 14 時 30 分～16 時 30 分

開催場所 室蘭市 エンルムマリーナ室蘭 2 階 A 会議室

議 題 「地域の魅力を活かしたみなとまちづくり」

特別講演 NPO 法人 羅針盤 日栄均副理事長

・港をめぐる新たな取り組み

2 座談会の参加者

大 西 育 子	女性みなと街づくり 苫小牧代表
高 橋 由貴子	稚内のみなとを考える女性ネットワーク代表
竹 内 珠 己	みなとまちづくり女性ネットワークオホーツク代表
折 谷 久美子	みなとまちづくり女性ネットワーク函館代表
立 野 了 子	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭代表
中 越 小 夜	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭副代表
石 岡 俊 子	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭会員
今 泉 裕 子	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭会員
名 和 暢 子	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭会員
北 川 洋 子	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭会員
間 嶋 裕 美	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭会員
渡 辺 みづき	みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭会員
金 子 ゆかり	釧路港おもてなし倶楽部副実行委員長
畑 由規子	釧路港おもてなし倶楽部会員
古 屋 温 美	北海道みなとまちづくり女性ネットワーク
田 村 仁	室蘭市港湾部建設課長
西 舘 武 志	室蘭市港湾部総務課主幹
眞 田 仁	北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 課長
古 屋 武 志	〃 〃 〃 港湾物流専門官
千 葉 俊 夫	〃 〃 〃 防災係長
水 口 陽 介	〃 〃 〃 防災係員
矢 本 欽 也	北海道開発局 室蘭開発建設部 次長
伊 藤 千 尋	〃 〃 築港課 課長
平良木 映 光	〃 〃 〃 港湾計画官
折 原 靖 夫	北海道開発局 室蘭開発建設部 室蘭港湾建設事務所 所長
小葉松 和 也	北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧港湾建設事務所 計画課 計画係長
今 卓 也	〃 〃 〃 〃 計画係員
早 川 哲 也	北海道開発局 釧路開発建設部 釧路港湾建設事務所 所長
日 栄 均	NPO 法人 羅針盤 副理事長
南 川 達 彦	〃 〃
森 川 慎 介	〃 〃
中 村 信 之	NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構 理事長

3 座談会の概要

中村理事長の挨拶のあと座談会に入りました。

座談会は、1) 特別講演、2) 北海道みなとまちづくり女性ネットワーク活動報告の順に行われました。特別講演は、室蘭港を活用したマチづくり団体、NPO 法人羅針盤の日栄均副理事長が「港をめぐる新たな取り組み」と題し、羅針盤が港を舞台に行ってきたさまざまなイベントを紹介しながら「室蘭港は地域の宝。港を活用し、どう楽しむことが出来るかを求めて、遊び半分で企画してきた」との説明がありました。そして「主催者自身を楽しまないと情報発信は出来ない。みんなが主催者意識を持って楽しめるイベントが大切」との助言があり、今後の女性ネットワークの活動に参考となる講演を頂きました。

続いて、女性ネットワーク各地域の代表者からの活動報告がありました。

苫小牧の大西さんからは、水揚げ日本一を誇る苫小牧市の「市の貝」であるホッキを広くアピールする「みなとフェスティバルでのホッキカレーの提供」や「ホッキまつり」、港の空間を歩き港に理解を深めてもらう「みなとウォーク in 苫小牧 2012」などの活動について。

室蘭の立野さんからは、室蘭港開港 140 年、市政施行 90 年記念「室蘭港鉄人船漕ぎ大会」の実行委員会への参加、「海の日コンサート」の共催などの活動について。

紋別の竹内さんからは、漁港区道路沿いにプランターを設置した「港の花いっぱい運動」、みなとまちづくりネットワークの飲食処「山桜桃」の活動などの紹介について。

稚内の高橋さんからは、今年で 10 回目を迎えた稚内港北防波堤ドームで開催した「WAKKANAI みなとコンサート 2012」や「学習会」、「みなと見学会」などの活動について。

函館の折谷さんからは、函館港湾事務所での「みなと学習会・ポートウォッチング」、「ペリー来航回顧ポート競走」での「いかめし」の配布、いかめしづくり体験学習「はこだて・イカキッズマイスター」、小学生がイカの解剖・いかめしづくりを体験する「「いか」の授業」などの活動について。

釧路の金子さんからは、行政機関・まちづくり団体・業界団体・商工会議所や青年会議所などで組織されている「釧路港おもてなし倶楽部」によるクルーズ船の出港時のお見送りを軸に、さまざまな歓迎イベントの開催などの活動についてと、畑さんからは、釧路海の月間の活動概要の説明がありました。

また、札幌の古屋さんから、NPO 法人マリンネットワークの活動報告がありました。

次に活動に関する意見交換では、行政関係者の皆様から各地域の活動に対する感想を頂きました。最後に女性ネットワーク会長の大西さんの閉会挨拶があり、次の人へのバトンタッチも考えながら、活動を続けてほしい。各地域で頑張っていることを再認識し、今後も頑張って活動していく事を確認して閉会しました。

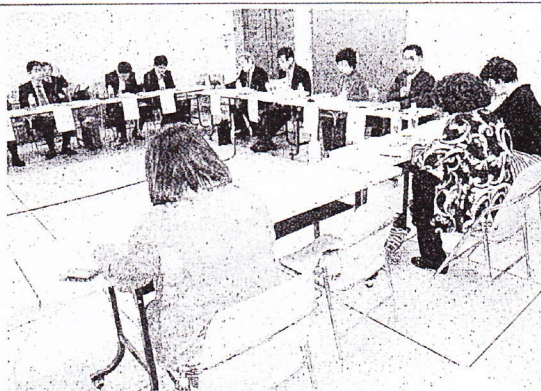


4 おわりに

最後になりましたが、多忙な中、座談会に出席頂いた女性ネットワークの皆様、行政関係の皆様、開催にご配慮を頂いた地元の皆様、また、室蘭港の現地見学の案内をして頂いた室蘭港湾事務所の皆様に厚く御礼申し上げます。

また、当日、報道機関(室蘭民報社)の取材があり、座談会の紹介記事が11月21日の紙面に掲載されました。

港活用のマチづくりを



全道の女性団体考える

室蘭で座談会

第9回みなと座談会(北海道みなとまちづくり女性ネットワーク、NPO法人北海道みなと文化振興機構共催)が20日、室蘭市絵鞆町のエンルムマリナ室蘭で開催された。全道から集まった女性ネットワーク会員らが、講演などを通して港を活用したまちづくりを考えた。

同ネットワークが所

全道の女性ネットワークが港を活用したまちづくりを考えた「みなと座談会」。

「室蘭港は地域の宝。港をどう楽しむフィールドにできるかを求めて、遊び半分でイベントを企画してきた」と説明した。

その上で「北海道は情報発信力が弱い。主催者自身が楽しめない。情報発信はできない。みんなが主催者意識を持って楽しめるイベントが大切」とアド

バイスした。続いて各ネットワーク団体が活動を紹介。「女性みなと街づくり苦小牧」は、みなとフェスティバルやホッキまつり、「みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭」は海の日のコンサート、「みなとまちづくり女性ネットワーク函館」はイカキッズマイスター、ペリー来港回顧ポスター競走など活発なイベントを発表し合い、交流を深めていた。(山田晃司)

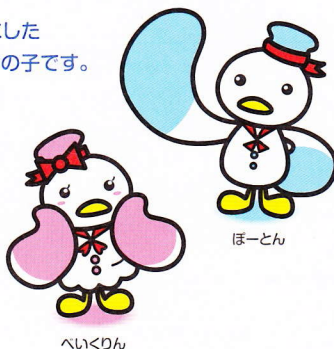
みなとの
マスコット

「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの紹介

北海道のみなとのキャラクター、「ぼーとん」、「べいくりん」は、みなさんにみなとの役割を知ってもらったり、みなさんが海やみなとで楽しく過ごしてもらおうお手伝いをするために、平成11年9月に誕生しました。

「小さな赤ちゃんカモメ」をイメージにしたとてもかわいい着ぐるみの男の子と女の子です。

ピンクの洋服を着たわたしは女の子で「べいくりん」といいます。
空色の洋服を着た僕は男の子で「ぼーとん」といいます。



「ぼーとん」・「べいくりん」の図案はNPO法人北海道みなと文化振興機構が商標登録しております。印刷等で図案をご使用のさいは、当NPO法人までご連絡ください。

さらに、「ぼーとん」・「べいくりん」の着ぐるみの貸出し(有料)もしております。全道のみなとのイベント等で大活躍中です。ご希望の方はご連絡ください。なお、夏の期間はイベントが集中しておりますのでご希望にそえない場合がありますのでご了承ください。

平成 24 年度

助成制度の実施概要について

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構では、道内のみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等、様々な事業を支援し、「みなとまちの活性化」に寄与することを目的とした助成事業を平成 20 年度から始めました。

平成 20 年度は小樽港で実施された「ボート天国市民舟遊び」を含め 7 件、平成 21 年度は「函館ペリー来港回顧ボート競争」を含め 9 件の事業を助成しました。

平成 22 年度は多数の応募のうち「室蘭の海としたしむ海の日コンサート」を含め 11 件の事業を助成しました。

平成 23 年度は、申請のあった 13 件のうち活動内容が、みなとまちの活性化への効果が十分に期待できるものとして、12 件を採択しました。

平成 24 年度の採択事業を決定するため、5 月 16 日「評価審査委員会」を札幌市で開催しました。委員は学識経験者 2 名と当法人の理事長の 3 名で、各団体から提出された申請活動に関する応募資料について審査をしました。

審査の選考基準は、事業の目的が「みなとまちの活性化への効果が期待できる事業」とし、①みなとへの理解と利用促進に係る広報・体験学習活動 ②海岸・みなとの清掃、植樹等の美化活動 ③海洋及



び港に係る教育、文化活動であること、地域住民との連携と広がり、また、過去の開催実績等も合わせて審査を行いました。

審査委員会の結果、申請のあった 13 件の活動内容が、みなとまちの活性化への効果が十分に期待できるものとして、13 件全てを採択しました。採択結果は 5 月 21 日に各団体へ文書により通知しました。なお、助成金額は 50 千円、100 千円、150 千円の区分で配賦しました。

採択した活動名や団体名並びに開催日は以下のとおりです。

採択した「みなとオアシス苫小牧」広報活動と「みなとオアシスわからない」広報活動については、当伝言板の「第 2 回 Sea 級グルメ全国大会 in ONA HAMA」で報告があります。

活 動 名	団 体 名	開催日時
第 8 回釧路港舟漕ぎ大会	釧路港舟漕ぎ大会実行委員会	8 月 4 日
函館ペリーボート競漕	函館ペリーボート競漕実行委員会	8 月 5 日
苫小牧港はすかっふボートレース	実行委員会	8 月 11 日
むろらん港鉄人船漕ぎ大会	実行委員会	7 月 15 日
第 6 回・漁業体験教室	小樽築港ベイエリア委員会	9 月 16 日
「みなとオアシス苫小牧」広報活動	みなとオアシス苫小牧運営協議会	
WAKKANAI みなとコンサート 2012	稚内のみなとを考える女性ネットワーク	8 月 19 日
網走はうまいんです。網走一番？	網走青年団体連合会	8 月 4 日
くしろクルーズ船おもてなしプロジェクト	釧路港おもてなし倶楽部	5 / 21 外 4 回
「みなとオアシス江差」広報活動	江差観光コンベンション協会	7 月 7 ～ 8 日
全道北前船競漕大会		
「みなとオアシスわからない」広報活動	みなとオアシス「わからない」	
函館のイカを食べて、地域の文化を再認識しよう	みなとまちづくり女性ネットワーク函館	8 月 5 日
室蘭港開港 140 年記念「海の日コンサート」	みなとまちづくりネットワーク室蘭	7 月 16 日

北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港)

平成 24 年度研修会の開催

平成 18 年 4 月に発足した防災エキスパート制度は、港湾・空港・漁港施設等・整備・管理等について専門的知識を有し、大規模災害発生時にボランティアとして支援活動を行うものです。

今年度の防災エキスパート研修会は 9 月 6 日(木) 第 1 合同庁舎地下 1 階会議室で開催した。

研修会前に防災エキスパート登録通知証の交付式が行われ、新たに 2 名の方が登録された。又 5 名の方が、登録抹消を希望し、総勢 29 名の体制で活動を行うこととなった。

研修会は、北海道開発局港湾空港部 梅沢信敏港湾建設課長、NPO 法人北海道みなどの文化振興機構 中村信之理事長から主催者の挨拶を受け講演に入った。

講演は国土地理院北海道地方測量部 島田信也地理空間情報管理官より「国土地理院から提供している地理空間情報について」と題して北海道開発局と国土地理院間の地理空間情報の活用推進のための協力に関する協定締結等についての解説、原田智明測量課測量第二係長より「地理空間情報活用ツール等のデモ」題して地理院マップシートについての説明があった。

後半の主議題である今後の活動方針については、地区別グループ(「南地区」函館・室蘭・「東地区」釧路・帯広・網走・「北地区」札幌・小樽・留萌・網走)の担当者によるディスカッション方式で、次の 3 テーマについて意見交換が行われた。

- ①北海道開発局が所掌する港湾・空港・漁港施設等の被災及び利用状況の情報収集に関する業務の支援。
- ②関係機関への情報連絡及び情報の記録、整理に関する業務の支援。
- ③災害復旧に必要な業務の支援。

最後に地区別グループの意見交換結果報告があり、主な内容は以下のとおりである。

- ・東日本大震災発生時の対応を総括したうえで、参集基準、役割、業務内容を整理した方が良い。
- ・現在の災害復旧制度、写真の撮り方、測量方法等災害査定時に即対応できるように、実践的な研修が必要。
- ・大規模災害時には、当該地区の防災エキスパートが出勤できないことも想定されることから、地区外者からの出勤も考慮することが必要。
- ・防災エキスパートに対し何を求めているか各事務所の意見を聞きたい。
- ・出勤の際には、2 名体制が望ましい。(災害対応経験者と比経験者等)
- ・直轄職員の防災エキスパート制度に対する認知度の向上が必要。

今研修結果を基に、今後の活動方針の充実を図ることを再確認し、研修を修了した。



みなとパネル展の開催

当 NPO 法人北海道みなとの文化振興機構では、一般の市民に港の役割、暮らしとの関わり合いを広く理解して頂くため、毎年「ザ・シンポジウムみなと」の開催に協賛し、実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

今年度は、「ザ・シンポジウムみなと in 室蘭」の開催に合わせて11月21日(水)「室蘭市民会館」の一階ロビーで開催しました。

今回は、室蘭市にちなんだ、パネル、ポスターを展示しました。ロビー入り口正面には、鉄の町室蘭にふさわしい最近話題の夜景のポスター、「日石の製油工場・新日鉄の製鉄工場・日本製鋼の工場」のポスターでシンポジウムに参加・聴講する皆さんを出迎えた。背面には、室蘭を代表するグルメポスター、「むろらん焼き鳥、カレー・ラーメン、クロソイのお刺身」のポスターを展示してシンポジウムに参加する皆さんを歓迎しました。

パネルは、室蘭港湾事務所、苫小牧港湾事務所から借用し、昨年の東北震災で「広域防災フロート」として活躍した防災フロートの活動記録、報告等を含むパネル2点と、苫小牧港湾所有の10点のパネルを展示しました。

それぞれのパネルを紹介する。①「北海道のみなと(港湾)」は、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾を紹介、②「北海道の貿易をささえる“みなと”」は、

輸出品、輸入品を紹介、③「北海道と本州をむすぶ“みなと”」は、移入、移出の紹介、④「人々の交流拠点“みなとまち”づくり」は、稚内港、釧路港、室蘭港等のみなとまちづくり紹介、⑤「観光振興に資する港湾整備」は、大型旅客船対応岸壁の整備、フェリーターミナル整備等の紹介、⑥「耐震強化岸壁の整備」は、整備済み港湾、整備中、計画中の港湾の紹介、⑦「北海道におけるクルーズ振興」は、近年、北海道は、クルーズ船の寄港地として注目されていることを紹介、⑧「北海道みなとオアシス」は、稚内、網走等の紹介、⑨「リサイクルポート」は、指定港湾、室蘭、苫小牧、石狩湾新港の紹介、⑩「津波漂流物対策施設」は、釧路港、十勝港、えりも港の事例紹介。

また、当 NPO 法人の主な活動内容と設立までの経緯を紹介する下記の2枚のパネルも併せて展示しました。

①北のみなとをもっと身近に

②NPO 法人の主な活動内容

今回のパネル展の開催に当たり、室蘭市港湾部様、室蘭開発建設部室蘭港湾事務所様、同苫小牧港湾事務所様からご理解とご協力により展示パネルを借用しました。厚くお礼申し上げます。



みなとサポート事業

各支部の支援活動

この業務は、開発建設部が開催する「みなと見学会」、「みなとパネル展」、「アンケート調査」などの実施について、NPO に支援要望があったものから支援可能なものを選択し、NPO 会員の“みなとサポーター” が支援するものです。

今年度は、函館、室蘭、小樽、稚内の開発建設部が開催する「みなと見学会」「みなとパネル展」等を、6月の「石狩湾新港みなと見学会」を皮切りに8港湾で実施しました。

内容は、函館港（9日間）、瀬棚港（1日）、室蘭港（2日間）、苫小牧港（2日間）、石狩湾新港（2日間）、岩内港（2日間）、小樽港（1日）、稚内港（1日）。日数は、20日間。人員は22人（延べ人数40人）。以下その概要を紹介します。

■ 札幌支部

①石狩湾新港みなと見学会

実施日 6月12日、14日、15日

石狩市内の小学校の児童（3～5年生）約350名を対象に、港湾業務艇「ひまわり（総トン数19トン）」に乗船し、約30分港内を巡りながら港の様子を見学（午前中で4航海）。

サポーター（2人/日）は、乗降船時の誘導・警備、救命胴衣の着脱を支援しました。



②岩内港みなと見学会

実施日 6月26日、27日

岩内町内の小学校の4年生の児童約150名を対象に、港湾業務艇「ひまわり」に乗船し、約20分港内を巡り港の役割などについて見学。

サポーター（2人/日）は、乗降船時の誘導・警備、救命胴衣の着脱を支援しました。



③小樽港みなと見学会

実施日 7月15日

「海の月間」関連事業の一環として開催される「マリン・フェスタ in 小樽」で、一般市民を対象に、港湾業務艇「ひまわり」に乗船し、港内を巡りながら港の様子を見学。5航海を実施。

サポーター(4人)は、乗降船時の誘導・警備、救命胴衣の着脱および記念グッズの配布をしました。



■ 苫小牧支部

①むろらん港鉄人舟漕ぎ大会

実施日 7月15日

室蘭港開港140周年を記念し中央ふ頭旅客船バースを会場に、32チームが室蘭・登別・伊達から参加、往復150mのコースを競いました。サポーター2人は応援や見物に訪れた駐車場の警備を行いました。



②室蘭港「海の日パネル展」

実施日 7月16日

白鳥大橋記念館「みたら」で、みなとの歴史と役割のパネルを展示。サポーター2名は来場者に記念グッズを配布。同時に業務艇「みさご」による「港内見学会」も行われ、参加した市民に記念グッズを配布しました。



③苫小牧港「みなとパネル展」

実施日 7月7日、8日

イオンモール苫小牧においてパネル展が開催され、サポーター(2名/日)は訪れた市民にアンケートの配布・収集、警備等、および記念グッズの配布を行いました。



函館支部

①函館港みなと見学会

実施日 7月10日、19日、21日、22日、24日、28日

市内の小中高生・一般市民約260名を対象に、港湾業務艇「みずなぎ（総トン数19トン）」に乗船し、港内を約40分間見学。サポーター（2～3名/日）は見学者の救命胴衣の着脱、乗降船時の誘導・船上警備を支援。また、記念グッズの配布をしました。



②函館港みなとパネル展

実施日 7月14日、15日、16日

函館市地域交流まちづくりセンターで3日間、一般市民を対象に函館港の歴史や役割を説明したパネル展示をしました。期間中約250名が来場しました。サポーター（1名/日）はアンケートを配布・収集、記念グッズの配布、展示品の説明・警備等の支援をしました。

③瀬棚港みなと見学会

実施日 8月28日

瀬棚小学校6年生29名を対象に、港湾業務艇「しらゆり」に乗船し、港内を約20分間見学。3航海を実施。サポーター2名は、見学者の救命胴衣着脱、乗降船時の誘導・警備を支援、グッズの配布をしました。



①2012 wakkanai みなとコンサート

実施日 8月19日

稚内港北防波堤ドームで開催された、「稚内のみなとを考える女性ネットワーク」主催の『みなとコンサート』の来場者を対象に、港に関するアンケートを配布・収集。



②北海道海洋深層水フェアへの協賛

実施日 10月14日(日)

北海道海洋深層水の取水施設が有ります、岩内町、八雲町(熊石地区)、羅臼町の3町及び(社)寒地港湾研究センターの共催による海洋深層水及び海洋深層水を用いた商品の認知度を高めるため一般消費者を対象に北海道海洋深層水物販フェア開催された。

場所は札幌駅前地下空間広場、憩いの空間で各町自慢の深層水品がブースに並べられ午前11時から午後6時まで販売された。

当NPO法人は、サポーター要員2名を派遣して、アンケート用はがき、パンフレットの配布、物販購入への呼込、深層水についての説明に協力した。



第2回 Sea 級グルメ全国大会 in ONAHAMA

～日本中のみなとまちの“旨いもの”大集結～

北海道開発局港湾空港部港湾計画課

平成24年10月6日(土)～7日(日)の2日間にわたり、福島県いわき市のアクアマリンパークでいわき小名浜みなとフェスティバルの一環として「第2回 Sea 級グルメ^{*1} 全国大会」が開催されました。

大会には、北は稚内港から南は大分港までの全国22(グルメ出店^{*2}:19、応援出店^{*3}:3)のみなとオアシス^{*4}が参加しました。

北海道からは2つのみなとオアシスが参加しました。「みなとオアシス 苫小牧」は、日本一の水揚げを誇り、肉厚でうまみいっぱいホッキ貝のフライをピタパンで挟み、特製のほっきだれで味付けした「ホッキピタ」でグルメ出店し、「みなとオアシス わっかない」は、稚内ブランドに認定されている絶品珍味の「ほっけ 燻製スティック」、「ボンたら」などで応援出店しました。苫小牧港、稚内港とも持ち込んだ食材のほとんどが完売となりました。

大会では、来場者による投票が行われ、グランプリには、いわき小名浜みなとオアシスの「ジャンボ!いわきカジキメンチ」が輝きました。いわき小名浜みなとオアシスの「カジキドック」が準グランプリに、愛媛県の八幡浜みなとオアシスの「じゃこかつ」が第3位、みなとオアシス 苫小牧の「ホッキピタ」は7位となりました。

期間中には、いわき市内全域のふるさと産品やグルメが集合し、61店舗が出店した「いわき大物産展」や18店舗が出店した「第18回日本そば博覧会 in いわき」も同時開催され、期間中は約83,000人の来場者がありました。

また、前日の10月5日にアクアマリンふくしまで開催された「第4回みなとオアシス全国協議会総会」にお



来場客入り込み状況



みなとオアシス 苫小牧出店状況

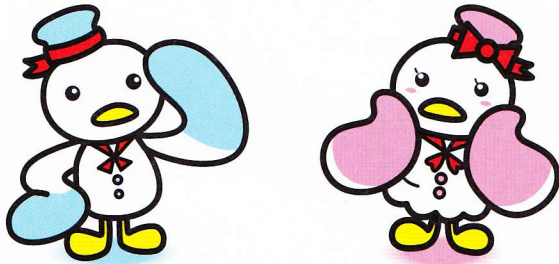
いて、来年度の総会は大分港の「みなとオアシスかんたん港園」で、Sea 級グルメ全国大会が苫小牧港と大分港で2回に分けて開催されることが決定しました。

来年度、苫小牧港でみなとオアシス全国大会が開催されることから、北海道開発局としても北海道道内でみなとオアシスに登録されている7港へのグルメ参加の依頼を行うとともに、大会の成功に向け、苫小牧みなとオアシス運営協議会と連携を図って周知活動を行いたいと考えております。

今後、Sea 級グルメ全国大会を通じたみなとまちの活性化や出店グルメ、各みなとオアシスの知名度が全国的に高まることが期待されます。



稚内ブース



販売した稚内ブランド

- * 1：Sea 級グルメとは、みなとオアシスが位置する地元のみなとで水揚げされた海産物や、みなとオアシスの背後地域で地産地消される名産品を用いてつくられ、「ぜひ多くの人に味わってほしい」と自信を持ってお勧め出来る飲食物を全国各地のみなとオアシスから募集。飲食物には何らかの“Sea”の要素が必要となっています。
- * 2：グルメ出店とは、“Sea”の要素を用いた飲食物を販売する出店。
- * 3：応援出店とは、“Sea”の要素を用いない飲食物や水産加工品の販売を行う出店。
- * 4：みなとオアシスとは、みなとを核とした住民参加型の地域活性化に資する取組み及びそれらが取り組まれる施設や地域を北海道開発局が認定し、「北海道みなとオアシス」として登録することにより、地域の賑わい創出を図ります。

北海道では、稚内港、網走港、江差港、苫小牧港、香深港、室蘭港、函館港の7港がみなとオアシスとして登録されています。

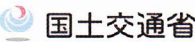
全国では、平成24年11月10日現在で67港が登録されています。

北海道みなとオアシスについて

平成24年11月20日
北海道開発局 港湾計画課



北海道みなとオアシス



みなとオアシスとは

みなとを核とした住民参加型の地域活性化に資する取組み及びそれらが取り組まれる施設や地区を北海道開発局が認定し、「北海道みなとオアシス」として登録することにより、地域の賑わい創出を図ります。

北海道では、稚内港、網走港、江差港、苫小牧港、香深港、室蘭港、函館港の7港がみなとオアシスに登録されています。



運営主体

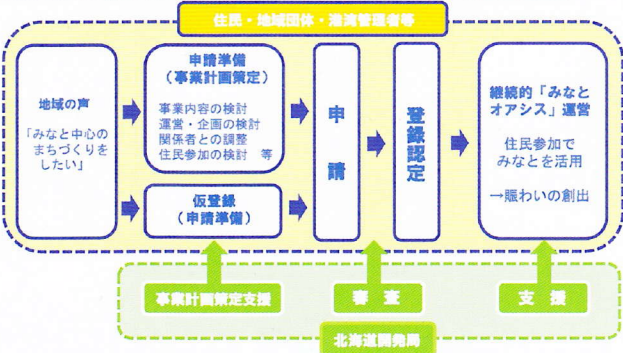
みなとオアシスの運営・活用のために住民が設置した地域の協議会等が運営主体となります。
なお、登録申請者は港湾管理者となります。

みなとオアシス提供サービス

- 情報
地域情報・観光状況を提供します
- 交流
広場や会議室等を提供します
- 休憩
駐車場やトイレ等を提供します
- 地域特性
地域の特産物を販売し、地域の祭やイベント等を開催します



登録の流れ

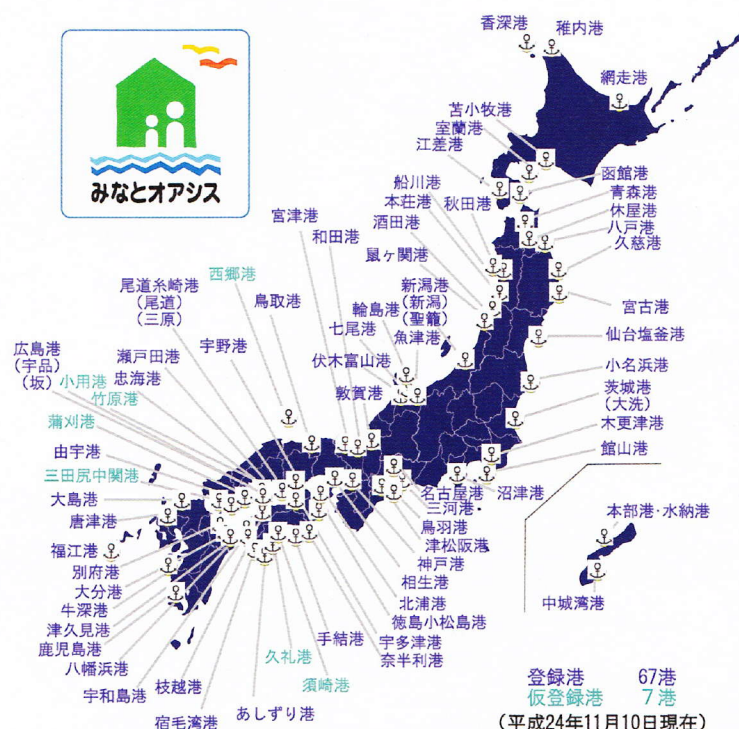


登録状況

オアシス名称	仮登録	登録
みなとオアシス「わっかない」	H19. 4	H19. 11
みなとオアシス網走	H20. 12	H22. 3
みなとオアシス江差	H21. 7	H22. 6
みなとオアシス苫小牧	H22. 12	H23. 3
みなとオアシスれぶん	H22. 12	H23. 6
みなとオアシス室蘭	—	H24. 7
みなとオアシス「函館」	—	H24. 7

(全国登録状況：登録67港、仮登録7港 (H24. 11. 10現在))

みなとオアシス登録港（平成24年11月10日現在）



みなとオアシス登録

みなとオアシス登録

港湾管理者等は、北海道みなとオアシスを供用又は暫定供用する1ヶ月前までに登録申請書及び北海道みなとオアシス事業計画書を関係者※と協議の上作成し、これを局長に提出して登録の申請を行うことができる。

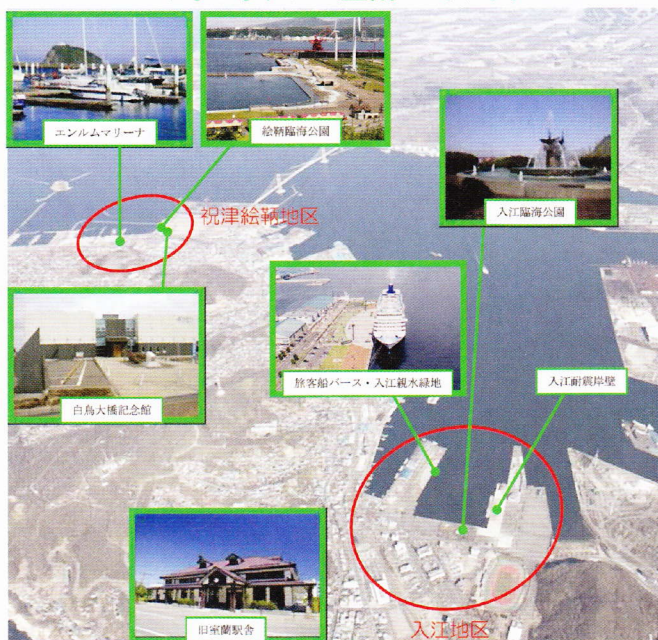
※関係者とは、既存の各種団体や関連する民間企業、港湾管理者等。

- 稚内の場合 稚内市、稚内みなとまちづくり懇談会、稚内みなとを考える女性ネットワーク、稚内観光協会、稚内商工会議所、稚内観光物産協会、第1副港開発（株）、駅前再開発組合、東日本海フェリー（株）
- 網走の場合 網走市、網走観光協会、網走商工会議所、網走中央商店街振興組合、網走青年団体連合会、道東観光開発（株）、みなと観光交流センターテナント企業
- 江差の場合 江差町、（財）開陽丸青少年センター、江差観光コンベンション協会、ひやま漁業協同組合江差支所、江差町歴まち商店街協同組合、ハートランドフェリー（株）江差支店、江差中央商店街協同組合、山ノ上商盛會、法華寺通り商店街組合
- 苫小牧の場合 苫小牧市、苫小牧港管理組合、苫小牧港振興会、苫小牧商工会議所、北海道港運協会苫小牧支部、苫小牧建設協会、苫小牧漁業協同組合、苫小牧市観光協会、北海道中小企業同友会苫小牧支部、苫小牧市町内会連合会、女性みなと街づくり苫小牧、苫小牧港開発（株）
- 礼文の場合 礼文町、香深漁業協同組合、礼文町観光協会、礼文町旅館民宿組合、環境NPO礼文島自然情報センター、礼文町商工会議所、礼文建設協会、宗谷バス（株）礼文出張所、礼文運送（株）
- 室蘭の場合 室蘭市、（一社）室蘭観光協会、（株）エンルムマリナーナ室蘭、（社）登別室蘭青年会議所、みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭、室蘭市建設業協会、室蘭港振興会、NPO法人羅針盤
- 函館の場合 函館市、函館港振興会、みなとまちづくり女性ネットワーク函館、函館商工会議所、函館国際観光コンベンション協会、函館国際水産・海洋都市推進機構、函館市西部地域振興協議会、海の日を祝う会、金森商船（株）、函館ベリポート競漕実行委員会

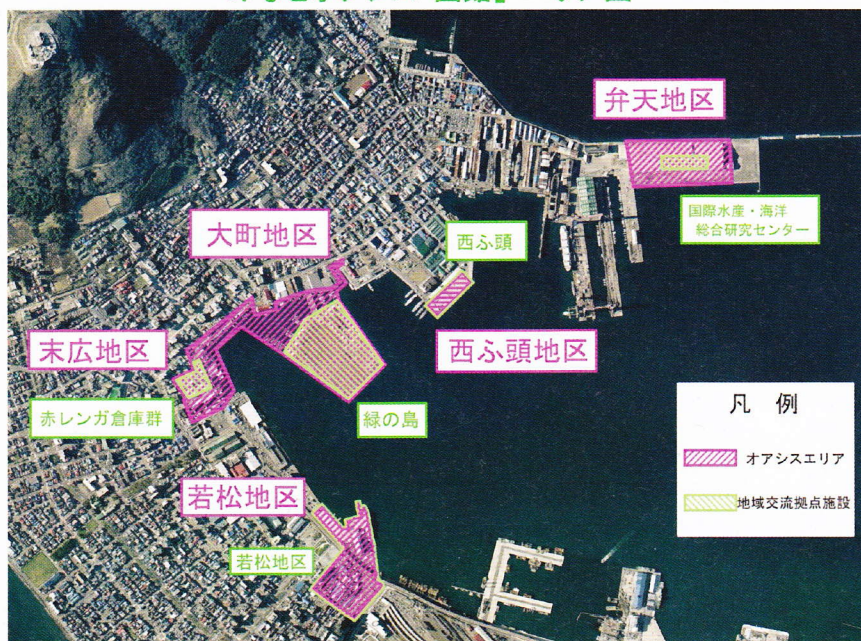


「室蘭港」・「函館港」のみなとオアシスエリア図は下記のとおりです。
「稚内港」・「網走港」・「江差港」・「苫小牧港」・「礼文港」のみなとオアシスエリア図は、平成24年3月に
発刊した伝言板 No.17 号で紹介したので省略いたします。

みなとオアシス室蘭 エリア図



みなとオアシス「函館」エリア図



特定非営利活動法人
北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌北ビル5階
TEL 011-727-3710 FAX 011-727-3710
ホームページアドレス
<http://minatobunka-npo.info/>